

報道発表

令和4年6月17日  
名古屋税関  
四日市税関支署



## 令和4年5月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年5月分について、輸出額は「石油製品」、「映像機器」、「自動車」などが増加したことから対前年同月比50.5%の増加となった。また、輸入額は「石油製品」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが増加したことから、同91.0%と大幅な増加となった。

その結果、差引額は1,117億円（同143.3%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	894億円	+50.5%	2,011億円	+91.0%	▲1,117億円	+143.4%
14カ月連続の増加		14カ月連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	205億円	25倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,124億円	+125.3%
		(2) 映像機器	55億円	215倍			(2) 石炭	184億円	+554.6%
		(3) 自動車	41億円	+164.2%			(3) 液化天然ガス	213億円	+22.2%
	減少品目	(1) 通信機	0億円	▲99.6%		減少品目	(1) 石油製品	65億円	▲9.6%
		(2) 科学光学機器	5億円	▲65.4%			(2) 半導体等電子部品	1億円	▲76.0%
		(3) 事務用機器	0億円	▲99.8%			(3) とうもろこし	2億円	▲67.4%
	地域別動向	アジア、大洋州が増加、アフリカは減少				地域別動向		中東、アジアが増加	

（参考）ドルレートは、129.17円（前年同月比18.7%、20.37円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。